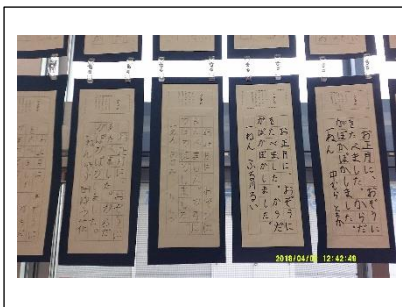


今月の特集

1年



みんなの
かきぞめ



2年



5年



6年



4年



3年



6年生

～昨年末、東京見学に行きました！～

冬休み前 12 月に、小学校生活で一度は行っておきたい場所、「国会議事堂」と、「科学技術館」に見学に行きました。国会議事堂では、議員の方や案内の方の話を聞きながら、日本の政治の中枢を肌で感じることができました。また、科学技術館では、最新の技術を見たり、実際に体験したりして、楽しみながら学ぶことができました。小学校生活も残りわずか。見学マナーなどの振り返りをし、最後まで集団として高め合っていきたいと思えます。



児童支援専任より

12 月の学校だよりでも書かせていただきましたが、今回も『SNS の利用について』再度保護者の方にご確認をお願いしたいと思います。最近は大人もよく利用するInstagram、TikTok、X(旧 Twitter)などの投稿型アプリの他、大人のあまり知らないアプリ(投稿型やアバターでの参加型など)が多数あり、子どもたちは気軽にそれらのアプリをインストールして使い方をあっという間に習得し、楽しんでいる様子が伺えます。無事に使いこなしていればよさそうですが、実は、子どもたちは使用しているアプリの中で、気づかぬうちに周囲を傷つける発言をしていたり、うっかり情報を流していたりしています。それを見た友達や友達の保護者、地域の方が心配して学校に「確認してください。」という連絡をくれることがあります。(先日は長野県の学校から「そちらの児童の投稿では？」といった内容の連絡がありました。)学校が確認してみると、保護者は「知らなかった。」ということがほとんどです。大人も子どもも、四角い画面の向こうで想像もつかない大きな世界とつながっていることをもう一度思い出し、誰が見ているかわからない、善人だけが知っている訳ではないことを確認してください。また、友達限定だから安心と思わず、そこでつぶやいた一言が友達関係に大きく影響することがあることも自覚する必要があります。中学・高校では、SNS のトラブルによって引き起こされた「いじめ」「ひきこもり」「不登校」が深刻な問題になっています。自殺など重大事態につながることもあります。「子どものプライバシーを大切にしたい。」という気持ちもわかりますが、まだ未成年でもあります。SNS に関しては、危険が伴うということを考えると、親子で日々、使い方を確認して、投稿する前に保護者のチェックを受けるなど、慎重に使用することが当たり前になることを願っています。